

令和4年度第3回 品川区区政運営会議 記録要旨

1 日 時	令和5年2月17日（金）10：30～11：00	2 場 所	第五委員会室	
3 件 名	区立学校における次期改築候補校の選定について			
4 出 席 者	区長、桑村副区長、教育長 企画部長、計画推進担当部長、教育次長、企画部課長、総務課長	5 会 議 結 果	■ 案のとおり決定する。	【備考】
			□ 一部修正の上、決定する。	
			□ 継続して検討する。	
			□ 案を否決する。	
6 会 議 内 容	◆「評価項目」の「④その他（特殊要因等）」とは具体的にどのようなことか。 ⇒例えば、小学校で改築工事を経験した学年が、学区内の中学校に進学した際、進学先の中学校でも改築工事を行っている、長期間仮設校舎等で過ごすことになる。そのような状況を避けるため、工事の連続性について配慮したいと考えている。 ◆改築を進める上での課題は具体的にどのようなことか。 ⇒現在、未改築校の多くは狭小敷地のところが多く、仮移転先の確保も困難であるため学校運営を継続しながら工事を行う必要があるが、周辺も狹隘道路が多く、工事車両の動線確保が困難であり、安全管理にも十分配慮する必要がある。こういった事情により工事が長期化していることや、昨今の人件費・資材高騰等の影響により、経費も増大傾向にあることが課題となっている。 ◆改築と改修の判断は、どのように行っているのか。 ⇒改築については、区内の学校すべてを一気に進めることができないため、老朽度や就学人口の動向、地域バランス、直近で大規模な改修工事を行っていないか等をふまえ総合的に判断し選定している。改修については、日常的に点検等を行っているので、設備や配管等の設置年数等も勘案しながら長寿命化の観点も踏まえ、必要な改修を随時行っている。 ◆議会説明時期はいつ頃を想定しているのか。 ⇒まずは2月の文教委員会にて説明する予定である。			

付 議 事 案 書

審議事項 ・ 報告事項							
1 件 名		区立学校における次期改築候補校の選定について					
2 担 当 部 課		教育委員会事務局庶務課		3 関 連 部 課		学務課、指導課、教育総合支援センター	
論 点 4 （決定を要する事項）		次期改築候補校については、「浅間台小」としてよろしいか					
5 概 要	① 現 課 状 題	<現状> ・区では、学校施設の老朽化や就学人口の増加等に対応するため、計画的な学校改築を推進している。 ・品川区総合実施計画では、令和4年度～令和6年度の各年度において、1校ずつ着手予定としている。 <課題> ・狭小敷地の中で、かつ学校運営を継続しながら改築を進める必要があり、工期が長期化する。 ・社会情勢により、建築費が高騰する傾向にある。		② 付議事案	目 的	建物の老朽度や就学人口の動向、地域バランス等を踏まえて計画的に学校改築を推進し、児童・生徒が安全で快適な学校生活を送れるよう、良好な学習環境を整備する。	
					対応方策	令和6年度までは1年に1校のペースで改築に着手していく。選定の考え方は、下記の評価項目を総合的に考慮し、次期改築候補校を挙げる。 ①建物の老朽度 ②就学人口の動向 ③地域バランス ④その他（特殊要因等）	
	③ そ の 他 （スケジュール等）	令和4年度 次期改築候補校の選定 令和5年度 現況調査（敷地測量等） 令和6年度 基本設計 令和7年度 実施設計 令和8年度 本体工事着手（完了時期は学校規模や提案内容等による）		項目	有無	方法（時期）	
				条例規則	無		
				議会説明	有	予算質疑や文教委員会報告（令和5年6月頃「学校改築の進捗について」）等	
				区民参加	有	建設準備懇談会（令和6年4月頃）	
				報道発表	有	令和5年度 当初予算案プレス（令和5年2月2日）	
				広報・HP	無		
6 参 考 情 報				7 添 付 資 料		資料1「区立学校における次期改築候補校の選定について」	

区立学校における次期改築候補校の選定について

資料 1

1. 改築年次計画

・令和5年度当初予算案においては、現況調査費として13,300千円を計上している。

＜改築年次計画表＞

学校名	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
鯉浜小 (大井地区)	外構竣工 (5月)					
浜川小・幼 (大井地区)	工事	校舎竣工 (2月)		外構竣工 (7月)		
第四日野小 (大崎地区)	工事	校舎竣工 (7月)		校舎竣工 (7月)	外構竣工 (10月)	
浜川中 (大井地区)	工事	体育館竣工 (11月)			校舎竣工 (7月)	外構竣工 (8月)
城南第二小 (品川地区)	実施設計	工事		校舎一期竣工 (7月)		外構竣工予定 (R11年6月)
源氏前小 (荏原東地区)	基本設計	実施設計	工事			
鈴ヶ森小 (大井地区)	現況調査	基本設計	実施設計	工事		
予定校		現況調査	基本設計	実施設計	工事	

2. 評価項目

①建物の老朽度

「品川区立学校施設長寿命化計画」に基づく、「構造躯体の健全性」や「構造躯体以外の劣化状況」を考慮する。

②就学人口の動向

就学人口推計に基づき、増築や改修等による対応では教育環境の確保が困難な学校、加えて、隣接する学区域との調整が困難な学校については、改築による対応を検討する。

③地域バランス

地区名	地区別学校数 (A)	改築着手済 (B)	残り	改築進捗率 (B/A)
荏原西	11校	6校	5校	55%
荏原東	9校	4校	5校	44%
大崎	8校	6校	2校	75%
品川	6校	4校	2校	67%
大井	11校	5校	6校	45%
八潮	1校	1校	0校	100%
計	46校	26校	20校	57%

④その他(特殊要因等)

同一通学区域内にある小中学校の工事の連続性等を勘案する。

3. 候補校選定に向けての考察

現時点での改築候補校とその考察については以下のとおりである。

学校名	考察	
浅間台小	◎	・建物の老朽度が高い ・就学人口の増加により、使用可能な教室数を超える可能性が高い ・土砂災害特別警戒区域への対応が必要 ・直近で大規模改修工事は未実施
三木小	△	・周辺道路幅員が極めて狭い ・就学人口の増加に対しては、改修により教室数の確保が可能 ・大崎地区の改築進捗率が高い
京陽小	△	・浅間台小学校と比較し建物の老朽度が低い ・直近で大規模改修工事は未実施
中延小	△	・外壁改修工事、校庭一部改修工事等の予定あり
東海中	△	・城南第二小学校との工事の連続性に配慮が必要
富士見台中	△	・直近で様々な大規模改修工事を実施済 ・大井地区の改築進捗率が低い

4. 次期改築候補校について

- (1) 上記の評価項目による考察を踏まえ、「浅間台小学校」とし、令和5年度に敷地測量等の現況調査を実施していく。
- (2) 以降の改築候補校の選定については、他の未改築校も含めて、今後の予算査定等において検討を行う。